



走り梅雨の候 読者の皆様には健やかにお過ごしでしょうか。

ニューズレターVol.193.6月号をお届けします。

是非ご一読いただき、皆様の活動にお役立てください。

今後も皆様の活動に有用な、できるだけ多くの情報をお届けしますので、本年も引き続きご愛読のほどよろしくお願いします。

編集部 一同

□■トップメッセージ■□

「正しく選ぶ、正しく捨てる、正しく向き合う世界の実現」に向けて

唐金 祐太

株式会社リングスター 取締役営業統括部長

株式会社リングスターの唐金祐太と申します。弊社は明治20年に創業した工具箱メーカーです。

近年、私が強い問題意識を持って取り組んでいるのが、海洋プラスチックごみ問題です。私は長崎県対馬市の海洋ごみ問題に関するスタディーツアーに参加し、その想像を絶する光景を目の当たりにしました。海岸には信じられないほど大量のごみが漂着しており、強風で分解された発泡スチロールが雪のように舞う現実がありました。年間数億円もの費用と多大な労力をかけても、その全てを回収しきれていない現状を知り、大きな衝撃を受けました。



この課題に対し、「壊れない工具箱」という耐久消費財を作り続けてきた私たちも、この問題は「関係ない」では済まされないと感じました。そう思い、対馬に漂着したプラスチックごみを耐久消費財として再生し、「そもそもゴミが流れない社会の実現」に向け、事業着手しました。現在、2年の歳月を経て、約1300kgの海洋ゴミを製品化し、130万円を対馬市に回収費用として寄付を行っています。

近年、目的化されたSDGsにある種の憤りを感じています。SDGsは大切な指標となる一方で、経済合理性を追求し無理に取り入れると、「経済合理性の合う、響きの良い課題の奪い合い」となり、「経済合理性の合わない、解決しにくい課題」が置き去りにされてしまうからです。正しく向き合わない限り、指標とは正反対の結果を生むことになりかねません。現状、社会的な仕組みそのものを考え直す必要性があると感じています。

この根深き問題に本気で真正面から向き合う企業は決して多くはありません。消費者に正しい知識を提供せず、企業にとって都合の良い代替素材の提案、「嘘はついていない」がまかり通る広義の定義。そんなことを繰り返して何になるのでしょうか。プラスチック問題は複雑であり、単に「脱プラスチック」を叫ぶだけでは解決できないのです。大切なのは、プラスチックの特性を知った上で、人類がこの素材とどう向き合うべきか、そして、そもそも人としての在り方はどうあるべきなのかを、皆が本気で考えることだと考えます。

私たちは、生駒市や対馬市と共に、全国の小中高、大学生にプラスチックについて学ぶ教育活動を行っています。未来を担う子供たちが、「正しく選ぶ、正しく捨て、正しく向き合う」ことで、この根深い問題は少しずつ解決され



ていくと信じています。問題の原因や仕組みを理解し、未来の子供たちが私達を誇れるような行動をとることが、最も大切だと考えます。そして、私たちの取り組みのように、業界や分野を超えて連携し、新たな解決策を生み出すことを目指しましょう。

未来へ向けた「自分ができる小さな一歩」を積み重ねていくことの大切さを、対馬の現状が教えてくれました。私はこの事業や教育活動を通じ、子供たちがいつだって真剣に向き合い、想像以上の答えを返してくれること、そして自分が本気で子供たちを信じ切れていなかったことを学び、猛省しました。この国の未来は明るいと言えます。

共に、より良い未来を築いていく覚悟を持ち、歩みを進めていきましょう。

【プロフィール】



唐金 祐太（からかね ゆうた）

1988年8月8日生まれ。

2009年に6代目候補として株式会社リングスターに入社。

老舗の技術で実現した耐久力と「収納」の汎用性を活かし、幅広いコラボレーションを展開。

長崎県対馬市に漂着した海洋プラスチックゴミを耐久消費財として製品化・販売し、啓発活動、学生に向けた講義も多数行う。

釣り、キャンプ、登山、日本酒、筋トレが好きな三児の父（全員男）。

□■3R・気候変動検定からのお知らせ■□

□■□「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」認定における試験免除のご案内□■□

「国家戦略・プロフェッショナル検定」において「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」というものがありますが、資格のレベル認定における「試験免除」が実施されており、本検定合格者もその対象となります。

具体的には、「3R・気候変動検定」に合格された方で

- ◆2年の実務経験（時期不問）があれば申請によってレベル2の認定取得が可能
- ◆レベル1を申請の場合は、申請だけで認定の取得が可能（実務経験不要）となります。

詳細は、一般社団法人産業環境管理協会ホームページ（<http://www.jemai.or.jp/eemanager/about.html>）または、内閣府ホームページ（<https://www5.cao.go.jp/keizai1/jissen-cu/jissen-cu.html>）をご覧ください。

「プラのきもち」ゲームを差し上げます！

総合地球環境学研究所・浅利美鈴研究室では、「プラのきもち」ゲームの第一弾（PET ボトルに生まれたら？）を開発し、挑戦者の募集を始めます。関心のある方は、mezase530@gmail.com までお問合せください。紙版や、ふろしき版があり、5月より、調査へのご協力などを前提に、寄贈等を開始します。なお、本ゲームは、2025大阪・関西万博でのご披露も決定しております！

ゲームの遊び方ガイド（以降の内容）は、[こちら](#)（※下記 URL）からダウンロード可能です。

なお、このゲームで使っている再生 PET100%の風呂敷には、DPP（デジタルプロダクトパスポート）という特別な情報がついています。DPP では、その製品に使われている素材の種類や品質、環境への影響、使い終わったあとのリサイクル方法など、ものの一生に関する大切な情報を見ることができます。ものが「つくられて」「つかわれて」「すてられる」までの流れを知ることは、地球をまもるための大事な一歩です。DPP を見れば、何からできているのか、どうリサイクルすればいいのか、どうすれば地球にやさしい選び方ができるのかを、しっかり学ぶことができます。

さあ、QR コードを読み取って、風呂敷の一生をのぞいてみよう！みんなで未来の地球をまもるヒーローになろう！

「プラのきもち」ゲームとは？

・「プラスチックのきもち」を知るボードゲームの第一弾として、ポリエチレンテレフタレート（PET）というプラスチックとして誕生し、ペットボトルの一生を体験するすごろくゲームです。マスを進みながら、ペットボトルから様々な製品に変身して「人生」ならぬ「プラ生」を歩みます。

・このゲームにはゲームオーバーがありません。プレイ時間を決めて、その時間内で獲得したプラスチックポイント（PP）で勝敗を決めます。短い場合は 20 分程度、長い場合は 1 時間でも、お楽しみ頂けます。

・本ゲームは、現段階の日本の最新状況に基づいてい



ます。例えば、マスに止まったら、そのマスと同じイラストのカードを引いて、カードの指示に従います。カードにはその製品に関する知識が書かれています。これらの知識は、今後更新／変更されたり、国や地域によって事情が異なることもあるかと思います。また、他の情報をお持ちの方もおられるかもしれません。そのような場合は、遠慮なく、お問い合わせください。

・日本のペットボトルは、リサイクルの取り組みが非常に進んでいるプラスチック製品です。ペットボトルからいろいろな製品に変身することで、長く生涯を過ごす（できるだけぐるぐると回って「END!」に遅く到着する）こともできます。それが、目指すべき環境にやさしい生涯かもしれません。

・ですが、人の価値観は様々です。是非、いろいろな人とゲームを行い、様々な生涯や価値観と出会って、互いを知ると同時に、自分のお気に入りを探してもらえると嬉しいです。

ゲームの詳細や遊び方のヒントなどは、下記で紹介しています。

「プラのきもちゲーム」の寄贈

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/6150/>

【1】ニュースレター「R」でつながるへの寄稿をお願いします！

寄稿を受け付けているのは次のコーナーです。なお、お寄せ頂いた方の中から、反響の多かった記事に（甲乙つけがたい場合は抽選で）素敵なプレゼントを差し上げます。プレゼントを希望される方は、希望番号もお書き添えください。

◆合格者の声：名前、活動エリア・都道府県、所属団体、なぜ受けようと思ったのか？受けてみての感想は？今後の活動の夢や目標は？公式テキストのおすすめページは？

◆読者の投稿コーナー

○イベント情報・宣伝：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）がこれから実施するイベントを紹介してください。ご自身のお名前（紹介者として掲載します）、イベントタイトル、日時、場所、概要（100字程度）、申込み方法、紹介WEBサイトなどをご連絡ください。

○イベント報告：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）が実施したイベントについてご報告ください。写真なども添えて、楽しいご報告を！（200字以内）

○リーダーお薦め&お役立ち情報：3 R・気候変動に関連して、

「この本は目から鱗だった」

「このグッズはすごく3 Rだ」

「こんな勉強会をやったらとてもうまくいった」

「ここを訪ねたらとても勉強になった」

「ここの3 Rゆるキャラはよくできている」

などの耳より情報をお待ちしております。100～300字程度で。

◆今月の写真：3 R・気候変動に関連する写真に近況を添えて。

【応募方法】

- ・ 募集元：一般社団法人持続可能環境センター 担当：ニュースレター編集委員会
- ・ 応募先：ex@3r-cc.jp までお送りください。ご質問等はこちらへ。

【プレゼントの例】

- 1.合格者バッチ（定価：1,000 円）
- 2.書籍「環境学～21 世紀の教養～」（定価：2,700 円＋税）
- 3.高月紘（ハイムーン）お手製グッズ
- 4.本検定代表（浅利美鈴）のソロモン諸島お土産セット
- 5.ふろしき研究会提供のふろしき

【2】プロジェクトアイデア募集しています！

3 R・気候変動リーダーズクラブでは、「こんなことに取り組みたい！」「こんなことに取り組んでみたら？」という意見やアイデアなどもお待ちしております。ex@3r-cc.jp までご連絡ください

■最近のニュース

◆環境省

○「地域脱炭素フォーラム 2025 in 札幌」「地域脱炭素フォーラム 2025 in 福岡」の開催について
⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04880.html

1. 環境省では、脱炭素先行地域の実施等を通じて加速する地域脱炭素のうねりを更に大きくし、地方創生に資する形で全国に波及させるため、「地域脱炭素フォーラム 2025～地域脱炭素 2.0 に向けた官民連携の更なる強化～」を各地域ブロックで開催することとしています。
2. 今般、第3回目となるフォーラムを令和7年6月11日（水）に北海道札幌市、第4回目を令和7年6月15日（日）に福岡県福岡市で開催します。
3. 本フォーラムでは、地域脱炭素に精力的に取り組む自治体や事業者、金融機関、学識者等による議論を通じて、「産官学金労言」など多様な主体を巻き込んだ地域脱炭素のムーブメントにつなげることを目指します。

○脱炭素先行地域選定結果（第6回）について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04798.html

1. 2030年度までにカーボンニュートラルの実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させ、全国モデルとなる脱炭素先行地域について、令和7年2月3日（月）から同月6日（木）までの期間で第6回の募集を行い、共同提案を含め日本全国の35の地方公共団体から15件の計画提案を提出いただきました。
2. 提出いただいた計画提案について、令和7年2月18日（火）から9回にわたり開催した脱炭素先行地域評価委員会の評価を踏まえ、環境省において、7件の計画提案を脱炭素先行地域（第6回）として選定したので、お知らせいたします。
3. その結果、第1回から第6回までに選定された計画提案は88件※となり、選定された市町村を有する都道府県は、38道府県から40道府県となりました。

※既に辞退している自治体は除きます。

〔脱炭素先行地域とは〕

2030年度までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロを実現するとともに、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、わが国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

○優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰します ～「第2回脱炭素都市づくり大賞」実施の御案内～

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04888.html

我が国では、2030年度温室効果ガス46%削減、2050年ネットゼロを国際公約としていますが、これを達成するには、温室効果ガス排出量・エネルギー需要の多くを占める都市の脱炭素移行が不可欠です。また、ネットゼロに加え、生物多様性の確保やウェルビーイングの向上などの観点から、都市緑地の質・量両面での確保の重要性も高まっています。

そのため、2030 年度ネットゼロを目指す優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰し、脱炭素型の都市づくりを促進することを目的として、国土交通省と共同で、「脱炭素都市づくり大賞」を令和 5 年度に創設しました。このうち、脱炭素、資源循環、ネイチャーポジティブの取組として特に優れたものを「環境大臣賞」として、緑地の創出やエネルギー利用の効率化等の取組として特に優れたものを「国土交通大臣賞」として表彰しています。

今般、第 2 回脱炭素都市づくり大賞の募集を令和 7 年 6 月下旬から 2 ヶ月程度行うこととし、全国から幅広く募集するため、募集開始前に事前のご案内を行います。

本表彰については、後日募集を開始するとともに、審査を経て、大賞及び特別賞を選定いたします。受賞者に対する表彰式は令和 8 年 1 月頃に開催予定です。

○地域ぐるみでの支援体制構築ガイドブック（令和 6 年度版） ～地域で脱炭素経営を推進する意義～ の公表について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04924.html

環境省では、中小企業の脱炭素経営の推進に向けて、日頃から中小企業との接点の多い地域金融機関や自治体、商 工会議所等が連携し、各地域特性を活かして地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制を構築するモデル事業を実施しています。

この度これまでのモデル事業の結果を踏まえ「地域ぐるみでの支援体制構築ガイドブック（令和 6 年度版）～地域で脱炭素経営を推進する意義～」を、令和 7 年 5 月 19 日（月）に公表しましたので、お知らせします。

本ガイドブックでは、地域で脱炭素経営を推進する意義に着目し、構築した支援体制の継続、地域の中小企業を巻き込みや脱炭素に向けた取組の浸透について、参考になる手順・ポイントを整理し、その方法や具体例をまとめたものです。また、令和 6 年度モデル事業を実施した 10 地域の取組事例も掲載しました。

○第 1 回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）での炭素市場構築に関する国際会合を開催しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04933.html

環境省は、経済産業省との共催により、2025 年 5 月 19 日に、「第 1 回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）での炭素市場構築促進に関する国際会合」（AZEC・DCM 国際会合）をオンライン形式で開催しました。同会合には、AZEC パートナー国の政府関係者や関係機関等が参加し、AZEC パートナー国における炭素市場の構築に向け、活発な議論を行いました。

○令和 7 年度「環境の日」及び「環境月間」の取組について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04973.html

1. 環境基本法（平成 5 年施行）では、6 月 5 日を「環境の日」と定めており（※）、環境省では毎年、この日を含む 6 月を「環境月間」として、国民の環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、様々な取組を実施しています。

2. 今年度は、「心地よい暮らしのために、今できる選択を。」をテーマに「環境の日」の認知度向上及び環境問題への更なる意識向上を目的に、各種メディアや SNS を通じた情報発信等により、環

境省の施策を集中的にわかりやすく届ける取組を行う予定です。また、環境の保全に関する普及・啓発のため、関係府省庁、地方公共団体等に、各種行事の開催を呼びかけています。

※ 1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたもの。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めています。

・「環境月間」の詳細は以下の URL より御参照ください。

⇒ <https://www.env.go.jp/guide/envmonth/>

○地域脱炭素化に向けた大学における環境人材育成の検討会の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04968.html

環境省は、地域脱炭素化に向けた大学における環境人材育成の検討会を開催することをお知らせします。本検討会は「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」（※1）で環境省が支援する地域ゼロカーボン WG を中心に行われる取り組みの1つです。本検討会は、オンラインにより開催します。

○二国間クレジット制度（JCM）の構築に関する日・タンザニア間の協力覚書に署名しました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04984.html

1. 2025年5月28日（水）、東京において、浅尾慶一郎環境大臣とハマド・マサウニ・タンザニア連合共和国副大統領府付国務大臣（連合・環境担当）との間で、二国間クレジット制度（JCM：Joint Crediting Mechanism）の構築に関する協力覚書の署名（三上陽一駐タンザニア特命全権大使の連署）が行われました。

※ JCM パートナー国：モンゴル国、バングラデシュ人民共和国、エチオピア連邦民主共和国、ケニア共和国、モルディブ共和国、ベトナム社会主義共和国、ラオス人民民主共和国、インドネシア共和国、コスタリカ共和国、パラオ共和国、カンボジア王国、メキシコ合衆国、サウジアラビア王国、チリ共和国、ミャンマー連邦共和国、タイ王国、フィリピン共和国、セネガル共和国、チュニジア共和国、アゼルバイジャン共和国、モルドバ共和国、ジョージア、スリランカ民主社会主義共和国、ウズベキスタン共和国、パプアニューギニア独立国、アラブ首長国連邦、キルギス共和国、カザフスタン共和国、ウクライナの29か国であり、タンザニア連合共和国は30か国目となります。

2. 今後、タンザニア連合共和国とのJCMを通じて、同国内の温室効果ガスの排出削減等に関する事業の実施により、両国のNDC（国が決定する貢献）の達成に貢献していきます。また、パリ協定第6条の市場メカニズムとしてJCMを実施し、地球規模での温室効果ガス排出削減・吸収、持続可能な開発を促進することにより、世界の脱炭素化に向けた取組に貢献していきます。

○第16回パリ協定6条4項監督機関会合が開催されました

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04986.html

1. 2025年5月12日から同年5月16日にかけて、第16回パリ協定6条4項監督機関会合がドイツ連邦共和国・ボンにて開催され、日本政府から環境省JCM推進室 高橋健太郎室長補佐がアジア太平洋グループのメンバー（代理）として参加しました。

２．第16回パリ協定6条4項監督機関会合では、ベースライン設定のためのスタンダード、リーケージを特定するためのスタンダード、その他、パリ協定6条4項においてプロジェクト活動を実施するための各種規則の改訂が採択されました。

３．た、7件の事業が、クリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism：CDM）から6条4項に移管されることが承認されました。

４．我が国が推進している二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）は、パリ協定6条4項とは異なり、パリ協定6条2項に基づく制度ですが、本監督機関会合の結果を参考にしつつ、プロジェクトの拡大・加速に取り組みます。

○令和6年度補正予算 消費者の行動変容等による家庭系食品ロスの削減推進モデル事業 一次公募の採択結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04961.html

１．環境省では、家庭系食品ロスの削減を支援するため、「消費者の行動変容等による家庭系食品ロスの削減推進モデル事業」を実施します。

２．本モデル事業を実施する地方公共団体・事業者等の一次公募をした結果、合計3件の事業を採択、支援することになりました。

○令和6年度補正予算 食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等の採択結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04959.html

１．環境省では、食品廃棄ゼロエリアを支援するため、「食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」等を実施します。

２．本モデル事業を実施する地方公共団体・事業者等を募集した結果、以下の2部門について合計7件の事業を採択、支援することになりました。

・部門Ⅰ 食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業：5件

・部門Ⅱ 食品廃棄ゼロエリア推進方策導入モデル事業：2件

○令和6年度から令和8年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の第七回採択案件の決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04985.html

１．令和6年度から令和8年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業（以下、「本事業」という）」の第七回採択案件として2件を採択しましたので、お知らせいたします。

２．今後も、「地球温暖化対策計画（令和7年2月閣議決定）」等に基づき、「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM※）」を通じた環境インフラの海外展開を一層強力に促進し、世界の脱炭素化に貢献していきます。

※ JCM（Joint Crediting Mechanism）とは、グローバルサウス等のパートナー国において、日本企業や日本政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、追加的に得られた削減や吸収の効果を、パートナー国側と日本側で分け合う仕組み。

○令和7年度「食品ロス削減推進表彰」募集開始について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_04952.html

1. 環境省及び消費者庁は、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、令和7年度「食品ロス削減推進表彰」を実施します。
2. 本表彰では、食品ロスの削減の推進に資する取組を実施している者であって、地域力の向上、消費者の行動変容の促進等に効果的かつ波及効果が期待できる優良な取組を実施した者を表彰します。
3. 今般、本表彰の募集を開始しますので、お知らせいたします。積極的な御応募をお待ちしております。

応募締切 令和7年7月31日（木）

◆経済産業省

○ストックホルム条約、バーゼル条約及びロッテルダム条約締約国会議が開催されました

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/05/20250513001/20250513001.html>

4月28日（月曜日）から5月9日（金曜日）までジュネーブ（スイス）において、化学物質・廃棄物関連3条約の締約国会議である、「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」（ストックホルム条約）第12回締約国会議、「有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約」（バーゼル条約）第17回締約国会議及び「国際貿易の対象となる特定の有害な化学物質及び駆除剤についての事前のかつ情報に基づく同意の手続に関するロッテルダム条約」（ロッテルダム条約）第12回締約国会議が合同開催され、条約ごとに技術的な議題や運用上の課題などについて議論が行われたほか、3条約間のシナジー強化や関連国際機関・枠組みとの連携を通じた効率的な対策の実施についての議論が行われました。

◆農林水産省

○第13回「食品産業もったいない大賞」募集開始！ ～食品産業における「もったいない」に関する取組を募集します！～

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250522.html>

「食品産業もったいない大賞」は、食品産業の持続可能な発展の観点から、食品ロス削減や廃棄物の再生利用等、顕著な実績を挙げている食品関連事業者並びに食品産業によるこうした取組を促進・支援している企業、団体及び個人を広く発掘し、その取組内容を表彰し、取組内容を世の中に広く周知することを目的として実施します。

◆国土交通省

○第2回脱炭素都市づくり大賞 募集開始前のご案内～優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰します～

⇒ https://www.mlit.go.jp/report/press/toshikankyo_250509.html

国土交通省及び環境省は、優れた脱炭素型の都市の開発事業を表彰し、全国における脱炭素型の都市づくりを促進することを目的として、「第2回脱炭素都市づくり大賞」を実施します。全国から幅広く募集するため、募集開始前に事前のご案内を行います。

◆3R・資源循環推進フォーラム

★第31回 容器包装交流セミナー in 大津を開催致します

⇒ https://3r-forum.jp/activity/seminar_symposium/2025/20250710_otsu/

★令和7年度 プラスチック資源循環研修会 大津を開催致します

⇒ https://3r-forum.jp/activity/seminar_symposium/2025/20250711_otsu/

■各種情報・イベント等

■行政関係

◆青森県

○循環型社会・3R 関連ページ

⇒ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shigen/junkan_3R.html

◆秋田県

○秋田県の一般廃棄物の現状について

⇒ <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/1806>

◆山形県

○持ち歩こう！マイボトル運動

⇒ <https://www.pref.yamagata.jp/050010/kurashi/kankyo/recycle/mybottle.html>

◆福島県

○環境教育・学習関連事業について

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005a/torimatome.html>

◆茨城県

○食品ロス削減のために身近なことから始めましょう！

⇒ <https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/hitai/kikaku/syokuhinrosu/syokuhinrosu.html>

◆栃木県

○プラスチック資源循環

⇒ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/d05/eco/haikibutsu/jyunkan/plastic.html>

◆埼玉県

○食品ロス削減対策取組事例について

⇒ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/foodloss-sakugen-jirei.html>

◆東京都

○SAF 原料用家庭の油 回収キャンペーンを開始

⇒ <https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/05/2025050205>

◆長野県

○信州エコスタイルごみ減量推進事業

⇒ <https://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/ecostyle.html>

○～想い伝わる簡易包装～「簡易包装プロモート事業」

⇒ <https://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kanihousou.html>

○長野県の1人1日当たりのごみ排出量（令和5年度実績）が公表されました

⇒ <https://blog.nagano-ken.jp/recycle/challenge800/7638.html>

○「信州プラスチックスマート運動」協力事業者に3事業者が登録されました！

⇒ <https://blog.nagano-ken.jp/recycle/challenge800/7667.html>

◆愛知県

○愛知県環境情報紙「環境かわら版」

⇒ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

◆滋賀県

○フリーマーケットへ行こう

⇒ <https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/other/334917.html>

○今月のプラチャレ

⇒ <https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/shigapura/334847.html>

◆京都府

○環境学習に係る出前授業について

⇒ https://www.pref.kyoto.jp/kankyoka/news/environmental_study_list.html

○フードドライブを実施してみませんか？

⇒ <https://www.pref.kyoto.jp/junkan/news/2022syokulossgekkkan.html>

◆広島県

○令和7年度「環境の日」ひろしま大会の開催について

⇒ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/r07-kankyounohi-hiroshimataikai.html>

◆香川県

○体験型環境学習プログラム

⇒ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyoseisaku/gakushu/network/taiken.html>

◆愛媛県

○河川から瀬戸内海へのごみの流入実態調査の結果をお知らせします

⇒ <https://www.pref.ehime.jp/page/108484.html>

○令和6年度愛媛県海洋プラスチックごみ実態把握調査の結果をお知らせします

⇒ <https://www.pref.ehime.jp/page/108389.html>

○第四次えひめ環境基本計画

⇒ <https://www.pref.ehime.jp/page/103539.html>

○クリーン愛媛運動

⇒ <https://www.pref.ehime.jp/page/7877.html>

◆福岡県

○福岡県散乱ごみ対策事例集を作成しました！

⇒ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/sannranngomitaisaku.html>

○全国初！農業用廃プラスチックをアスファルト舗装の材料に！～新技術でリサイクルコストの削減とCO2排出量削減～

⇒ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/risouken-nougyouyouhaipura.html>

○ごみ減量化啓発動画をバンコク都に提供しました

⇒ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bangkok-3rkeihatsu.html>

○医薬品ボトル回収・再資源化実証事業について

⇒ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/pharmaceutiabottles-recycle.html>

◆熊本県

○6月は環境月間です～みんなで環境を守る取組みを実践しましょう～

⇒ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/49/234427.html>

◆大分県

○《参加者募集》令和7年度 OITA スポ GOMI ブロック大会

⇒ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13400/supogomir7.html>

◆札幌市

○【令和7年春】第38回北1条通オフィス町内会セーフティ&クリーン大作戦の開催について

⇒ <https://www.city.sapporo.jp/shimin/kensho/kitals/index12.html>

◆仙台市

○令和7年4月の家庭ごみ量速報をお知らせします

⇒ <https://www.city.sendai.jp/haiki-kanri/kurashi/machi/genryo/chosa/data/sokuho.html>

◆千葉市

○まだ使える不要品の回収スポットがオープンします！

⇒ <https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/reuse-spot.html>

○千葉市のごみ量

⇒ <https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/herasou.html>

◆相模原市

○第21回さがみはら環境まつりを開催します！

⇒

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/res/projects/default_project/page/001/032/939/0515/02.pdf

◆新潟市

○指定ごみ袋の原料となる「資源米」の田植えを実施しました

⇒ https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/mayor/sityounougoki/070519_1.html

○どのくらい食品ロスが減らせているかチェックしてみよう！～サイチョプレス最新号掲載しました～

⇒ <https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/gomi/keihatsu/kankobutsu/saicypress/index.html>

○サイチョのマジックダンボールで生ごみ減量と堆肥づくりにチャレンジしませんか

⇒ <https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/gomi/recycle/namagomi/dannbo-ru.html>

◆浜松市

○「ごみ減量化ゲーム」を公開しました。

⇒ <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ippai/gomigennryoukage-mu.html>

◆名古屋市

○[緊急告知]水銀使用製品等の適正な排出について

⇒ <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000186209.html>

◆京都市

○市民向けフードドライブ（余剰食品の回収・寄付）を実施！

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000340731.html>

○環境フェスタ東山の開催

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000340792.html>

◆広島市

○【受付中】令和7年度ごみゼロ・クリーンキャンペーンにご参加ください！

⇒ <https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/gomi-kankyo/1021283/1037055.html>

◆墨田区

○すみだ環境フェア 2025 を開催します

⇒ https://www.city.sumida.lg.jp/eventcalendar/kankyo_chiiki/kankyoufea2025.html

◆荒川区

○「熱中症予防の推進及びプラスチック製品の使用抑制に関する連携協定」を締結～マイボトル用給水機を区有施設へ導入～

⇒ <https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/houdou/20250501.html>

◆練馬区

○使用済み食用油で飛行機を飛ばそう

⇒ <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/gomi/oshirase/abura.html>

◆足立区

○【中央図書館】リサイクル本交流コーナーを設置しています。

⇒ <https://www.city.adachi.tokyo.jp/toshokan/20250425tyuorisa.html>

◆葛飾区

○消費生活センター リサイクルコーナー・フリーマーケットの開催について

⇒ <https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1004028/1030175/1003400/1022731.html>

◆横須賀市

○令和6年度の月間ごみ量速報！

⇒ https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4105/recycle/gomi_data/sokuhou.html

○定日収集ごみの種類別排出量

⇒ https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4105/recycle/gomi_data/teijitu.html

◆藤沢市

○家庭用電動生ごみ処理機の購入費補助金制度について

⇒ <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kankyou-s/kurashi/gomi/hojo/kateiyoudendounamagomishoriki.html>

◆松本市

○環境教育情報

⇒ <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4544.html>

◆亀山市

○市民1人1日あたりのごみ排出量（目標値と実績値）

⇒ https://www.city.kameyama.mie.jp/docs/2024120300077/ijikanri_kouhyou.html

◆高松市

○7月の環境学習「サーキュラーファッションバスツアー」を更新しました！

⇒ https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kurashi/kankyo/kankyo_gakushu/index.html

■団体関係

◆(公財)あしたの日本を創る協会

○令和7年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞」募集中 応募締め切り7月7日（月）

⇒ <http://www.ashita.or.jp/prize/index.htm>

◆アルミ缶リサイクル協会

○リサイクルニュース 2025 年 04 月号 Vol.171 を掲載しました。

⇒ <https://www.alumi-can.or.jp/pages/36/>

◆ガラスびん 3 R 促進協議会

○びんリユース事例紹介に、T-BOX「伊藤茶 mirume」の取り組みが Web サイトにアップされました

⇒ <http://www.returnable-navi.com/case/case09.shtml>

◆(一社)環境衛生施設維持管理業協会

○大阪産業大学の学生がごみ処理施設を見学

⇒ <https://www.j-ema.com/new/2025/04/30/1503.html>

◆(NPO)持続可能な社会をつくる元気ネット

○「ガラスびん 3 R 促進情報交換会」を開催しました！

⇒ <http://www.genki-net.jp/news/3050/>

◆(一財)食品産業センター

○(公財)食品等流通合理化促進機構「第 13 回食品産業もったいない大賞」の募集開始のご案内

⇒ <https://www.shokusan.or.jp/news/8506/>

◆スチール缶リサイクル協会

○広島県福山市の製鉄所で開催されたイベントに参加しました

⇒ <https://steelcan.jp/>

◆(一社)全国清涼飲料連合会

○啓発動画ご案内「自動販売機の横にある箱は、リサイクルボックスです」

⇒ <https://www.j-sda.or.jp/news/2025/04/30/post-1296/>

○全清飲・葛飾区協働「かつしかエコライフプラザ」にて、ボトル to ボトル啓発

⇒ <https://www.j-sda.or.jp/news/2025/05/09/post-1302/>

◆(一財)日本環境衛生センター

○広報紙「JESC-INFO」について

⇒ <https://www.jesc.or.jp/about/tabid/383/Default.aspx>

◆(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

○「令和 7 年版 廃棄物処理法令 (三段対照)・通知集」発行

⇒ <https://www.jwnet.or.jp/info/publish/hourei/index.html>

○メールマガジン「JW センターNEWS」第 224 号発行のお知らせ

⇒ <https://www.jwnet.or.jp/info/mailmag/backnumber/no224.html>

◆(一社)日本バイオプラスチック協会

○実海域での海洋生分解性プラスチックの分解試験法の国際規格が発行されました。

⇒ https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2025/pr20250512/pr20250512.html

○6/18(水)に内容紹介のオンラインセミナーを開催します。

⇒ https://peatix.com/event/4392453?utm_source=hp

◆(一社)プラスチック循環利用協会

○プラスチック情報局「協会の活動」に「2024 年度出前授業・イベント協力等」をアップしました。

⇒ <https://www.pwmi.or.jp/news/new/post-2653/>

◆PET ボトルリサイクル推進協議会

○統計データ「使用済み PET ボトルの輸出状況」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/exportation.html>

○統計データ「PET ボトルの再商品化実績」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/achievement.html>

■参加者募集

◆愛知県

○2025 年度あいち環境塾の塾生を募集します

⇒ <https://www.pref.aichi.jp/press-release/kankyojuku2025.html>

◆足立区

○講座「これからのプラスチックごみ問題とは」〔令和 7 年 6 月 15 日（日曜日）開催〕

⇒ <https://www.city.adachi.tokyo.jp/kankyo/kurashi/kankyo/kouza0615.html>

◆武蔵野市

○消費生活講座 「“プラなし博士”海洋プラスチック汚染を語る」

⇒

https://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/sodan_komarigoto/shohiseikatsu/event_shouhiseikatsucenter/koza/1050690.html

■その他募集

◆宮城県

○令和 7 年度エシカル消費普及啓発高校生動画コンテスト

⇒ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syoubun/ethical/r7ethicaldougai.html>

◆山形県

○環境に関する普及啓発活動等に取り組む「学生環境ボランティア」（愛称"やまカボ・サポーター"）を募集します！！

⇒ <https://www.pref.yamagata.jp/050015/r7gakuseikankyoboranthia.html>

◆茨城県

○食品ロスの削減に向けた「いばらき食べきり協力店」を募集します

⇒

<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/haitai/kikaku/syokuhinrosu/syokuhinnrosutabekirikyouryokuten.html>

◆愛媛県

○愛媛県資源循環優良モデル認定制度（スゴ eco）の令和 7 年度新規認定を募集します

⇒ <https://www.pref.ehime.jp/page/9669.html>

◆大分県

○大分県リサイクル認定製品認定制度

⇒ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13400/ninteiseido.html>

○「グリーンアップおおいた実践隊」を募集しています！

⇒ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13090/greenup-oita-zissenntai-bosyuu.html>

◆鹿児島県

○令和 7 年度「かごしま認定リサイクル製品」の第 1 回募集について

⇒ <https://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/recycle/kagoshima-recycle2.html>

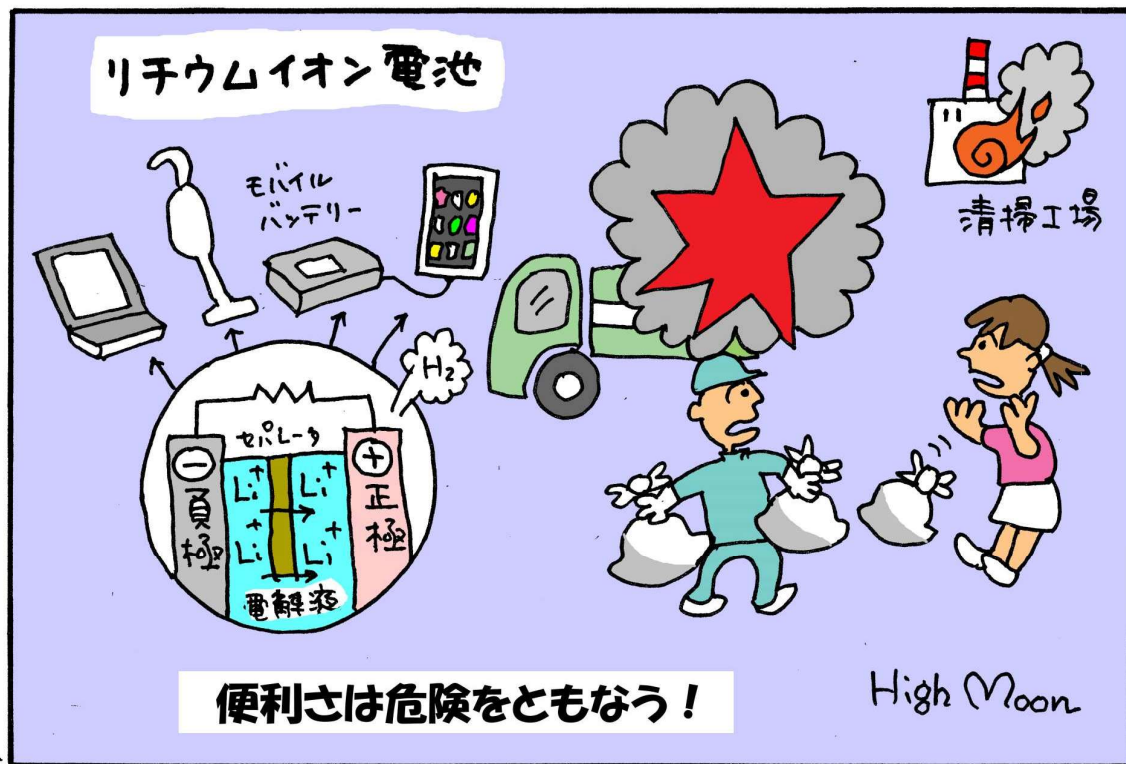
◆京都市

○令和 7 年度 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」参加団体を募集

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000339413.html>

第18回：リチウムイオン電池（ゴミック新作集18-1 より）

環境省の調べによると、ごみ処理施設や収集車におけるリチウムイオン電池による火災や発煙事故が年間2万1700件（2023）発生しているとのこと。私たちの身近な家電製品（スマホ、モバイルバッテリー、パソコン、コードレス掃除機など）にはリチウムイオン電池が使用されていますが、廃棄の仕方を誤りますと爆発や火災事故につながります。そこで、国（環境省）はリチウムイオン電池は市町村が回収するように通知を出しました。しかし、本来は電池の生産者が責任をもって回収すべきです。



作者註：国（環境省）はリチウムイオン電池を市町村が回収するよう通知をしました

「連載：3R・気候変動マンガ集」には、毎回、3R分野と気候変動分野にちなんだ作品を「ハイムーン工房ギャラリー」の「ゴミック新作集」（<https://highmoonkobo.net/>）からピックアップして紹介します。

なお、ハイムーン氏は氏が作成したマンガ、イラストについては基本的には著作権主張されず、むしろ多くの人に活用されることを望んでおられます。例えば、環境NPOのニュースレター、各自治体の廃棄物対策用啓発パンフレット、教育現場での教材などには、紙媒体だけでなく電子媒体でも活用可能です。イラスト利用の場合は出来れば「ハイムーン工房のホームページより」などと出典を明記していただければ幸いです。但し、企業の営利にかかわるものへの活用はお断りされています。

また、ハイムーン工房のギャラリー作品は一つの作品に3つの解像度（オリジナル、中サイズ、小サイズ）のものを用意されていますので、要望に合わせてダウンロードして活用ください。

作品についてのさらなる要望（たとえば白黒画像など）があれば、直接、ハイムーン氏へ下記電子メールで連絡してください。

■プロフィール：高月 紘

【略歴】1941年京都府生まれ。1965年京都大学工学部卒業、1977年京都大学工学博士、1985年京都大学環境保全センター教授。京都大学名誉教授 工学博士（廃棄物処理）。

京エコロジーセンター前館長。公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 前理事長。日本漫画家協会会員。

【コンタクト】ハイムーン工房：URL <http://highmoonkobo.net/> 電子メール：em.highmoon@gmail.com

1. JCCCA からのお知らせ

【すぐ使える図表集】新規図表の作成・公開について（お知らせ）

<https://www.jccca.org/news-info/341101>

【すぐ使える図表集】デコ活データベース CO2 の可視化に関する資料を更新しました

<https://www.jccca.org/news-info/334887>

2. 温暖化関連ニュース

フロンガス・代替フロンについて

<https://www.jccca.org/news/351331>

スマートライフおすすめ BOOK 電子版（2025 年度版）の公開について

<https://www.jccca.org/news/352141>

3. 温暖化関連イベント情報

【オンライン開催】専門家が解説！SBTi ネットゼロ基準の最新動向を学ぶウェビナー開催（2025 年 6 月 4 日（水））

https://www.jccca.org/event_info/352465

【参加者募集】「地域脱炭素フォーラム 2025」開催のご案内（6/11(水)札幌、6/15(日)福岡）

https://www.jccca.org/event_info/350294

【参加者募集】環境ネットワーク埼玉 令和 7 年度講演会のご案内（2025 年 6 月 14 日（土））

https://www.jccca.org/event_info/354895

【オンライン視聴可能】基調講演「スポーツと気候変動 アスリートが語るサステナブルな未来」のご案内（2025 年 6 月 19 日（木））

https://www.jccca.org/event_info/351743

【参加者募集】埼玉グリーン購入フォーラム 2025 のご案内（2025 年 6 月 24 日（火））

https://www.jccca.org/event_info/354906

【オンライン開催】気候変動適応サイエンスカフェ「身近な緑の役割と課題 ― 災害現場で見えてきたこと ―」
のご案内（2025 年 7 月 11 日（金））

https://www.jccca.org/event_info/354940

「第 17 回 環境教育ポスターコンクール」のご案内（主催：公益財団法人こども教育支援財団）

https://www.jccca.org/event_info/353775

<お願い>

JCCCA ウェブサイトでは、温暖化関連イベントの情報を掲載しています。

掲載希望のイベントがございましたら、下記の URL からご連絡をお願いいたします。

<https://www.jccca.org/otoiawase/event-form>

~~~~~

発行者：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

<https://www.jccca.org/>

---

## □■今月の一枚■□

---

今年の夏も、気象庁の予報によると、全国的に平年よりも気温が高く、猛暑となる見込みです。梅雨入り・梅雨明けともに例年より早まると予想されています。

「日本の四季が二季化？」と言われていています。地球温暖化の影響で夏と冬の2つの季節が顕著になり、春と秋が短くなる現象だそうです。温暖で快適な季節を満喫する余裕もなく、暑さ寒さの対策を考えなければならない。既に、衣食住の様々なところにも影響が出ていますよね。

「夏の風物詩」も酷暑を避けて前倒しされ、減少しています。祭りや花火大会が春や秋に開催されています。本来の開催の由来や目的よりも、事業化、イベント化すれば、集客と安全安心なパフォーマンスが優先されます。熱中症の発症や炎天下で飲食物を取り扱うリスクを考えれば、適切な判断であるかもしれません。夏や冬の「風物詩」が前倒しされて、多様化と変容を遂げながら春と秋の短期間に集中し、忙しくなりますね。



横浜市港北区にて  
写真撮影・文責：村岡良介

---

## □■編集後記■□

---

6月5日は「環境の日」、6月は「環境月間」です。そして、5月30日～6月5日は「海ごみゼロウィーク2025」の強化月間です。全国各地で、様々な環境保全活動や一斉清掃、催しなどが実施されます。本検定で獲得し、連結した「知」を行動に移し、実践するチャンスです。本ニュースレターの掲載情報も活用いただき、積極的に参加しましょう。(R.M.)

お気に入りの画像にメッセージを添えて、「今月の1枚」を投稿しませんか？

「合格者の声」の投稿も歓迎します！

本ニュースレターを読者の皆様ご自身の活動紹介や情報発信、交流の場に活用してください。

編集メンバー：浅利美鈴（総合地球環境学研究所）、  
村岡良介（日本環境衛生センター・村岡環境カウンセラー事務所）、  
山田大智（京都大学）

協力：3R・資源循環推進フォーラム、全国地球温暖化防止活動推進センター

---

---

□■お問い合わせ窓口■□

---

---

◆一般社団法人 持続可能環境センター◆

〒604-8874 京都市中京区壬生天池町 27-4 Tel : 075-708-8144 FAX : 075-708-8153

◆3R・気候変動検定 検定事務センター◆

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-16-13 堺筋ベストビル 9 階 一般財団法人 環境事業協会内

電話 : 06-6210-1720 Website: <https://3r-cc.jp> E-mail : [ex@3r-cc.jp](mailto:ex@3r-cc.jp)

Twitter ID: @3r\_lcs\_kentei ([https://twitter.com/3r\\_lcs\\_kentei](https://twitter.com/3r_lcs_kentei))

Facebook ID: @3rteitanso (<https://www.facebook.com/3rteitanso/>)

受付時間 9 : 00 - 17 : 00 (12 : 00 - 13 : 00 を除く) 休業日 : 土・日・祝・年末年始 (12 月 28 日 ~ 1 月 5 日)